

出前授業を受ける生徒



一小、二小出前授業 遊水地の効果、役割学ぶ

8月30日(水)に第一小学校、9月4日(月)に第二小学校で鏡石町の小学4年生を対象に阿武隈川緊急治水対策プロジェクトについて、国土交通省東北地方整備局福島河川国道事務所の職員が出前授業を行いました。
生徒は、阿武隈川の治水対策や遊水地の仕組み、災害が起きたときに安全に避難する方法について資料や模型を使った説明を受け、理解を深めました。

要望書を提出する木賊町長



3町村長が要望書提出 遊水地農地活用求める

9月11日(月)、鏡石町、矢吹町、玉川村の3町村長が、阿武隈川緊急治水対策で国が3町村に整備する遊水地の利活用に関する要望書を福島河川国道事務所に提出しました。要望書では、農業などの生業継続へ遊水地整備後に一部の土地を農地として利用できるようにするための制度拡充を求めるほか、プロジェクトの計画的な推進と必要な財源の確保についても要望しています。

大会に向けて士気を高める町代表チーム



市町村対抗福島県ソフトボール大会 壮行会で士気高める

第10回市町村対抗福島県ソフトボール大会に出場する鏡石町チームの選手壮行会が9月17日(日)、鳥見山野球場で行われ、選手たちが大会に向けて士気を高めました。
式では木賊正男町長から割栢信義代表に町旗が授与され、激励金も交付されました。初戦は10月14日(土)、相馬光陽ソフトボール場で行われます。

スマートフォンを実際に操作する参加者



はじめてのスマートフォン体験教室 基本操作など学ぶ

9月14日(木)に町公民館で、「はじめてのスマートフォン体験教室」が開催されました。参加者は実際にスマートフォンを操作しながら講師から説明を受け、基本操作やマップ、カメラなどについて学びました。
参加者は、「基本操作について隅々まで教えてもらえて、高齢者だけでなく、全世代に通じる内容であった。」と満足そうに話していました。

鏡石町防災訓練実施 もしもに備え、防災力向上図る

9月14日(木)、町役場、あやめホール(第一小学校)等にて鏡石町防災訓練が実施され、職員らが大規模災害時の初動体制について訓練しました。被災時に避難所を開設するあやめホールでは、AEDを使用した救命法について、新採用職員が須賀川消防署員の指導のもと訓練し、また駐車場では給水施設の開設訓練を行いました。町職員のほか、町消防団、県中地方振興局、鏡石駐在所、鏡石分署など約60人が参加し、大規模災害が発生した場合の応急対策活動の習熟や、町と防災関係機関の連携強化により地域防災力の向上に努めました。



AEDを使用した人命救助訓練を行う職員

備蓄されている保存食について説明を受ける木賊町長



応急給水施設で水を汲み、避難者に給水する訓練

交通安全マスコット寄贈 町の交通安全願う

9月6日(水)、泉崎村でランドセル製造を行っている株式会社栄伸福島工場(橋本達宏工場長)から町へ、マスコットが寄贈されました。マスコットはランドセルを制作する過程で出た端材を再利用したもので、町交通安全母の会では、これに鈴と交通安全祈願のお札をつけ、交通安全マスコットとして10月7日(土)開催の鏡石「牧場の朝」オランダ・秋祭りの交通安全鼓笛パレードで配布する予定です。



交通安全マスコットを橋本工場長(左)から受け取る町母の会添田喜美代長(右)

鏡石中学校で講座 認知症に理解深める

「鏡石町認知症サポーター養成講座」が9月8日(金)、鏡石中学校で開かれ、3年生が認知症への理解を深めました。講座では、認知症サポーターの役割や認知症の人との接し方などについて説明が行われたほか、町が行っている「認知症カフェ」「認知症初期集中支援チーム」などの取り組みを紹介し、受講した生徒には「認知症サポーターカード・ピンバッジ」が授与されました。



認知症サポーターの役割などについて学ぶ生徒